

# 東海第二原発の再稼働に向け、 吉川市と水戸市の広域避難協定は？ 進捗状況と周知の徹底を

9月議会  
小林昭子の  
一般質問

## 11月7日 原子力規制委員会運転延長を認める 水戸市議会・那珂市の市長反対を表明！

市民生活部長 東海第二原発、事故時避難者 2700人の  
受け入れ協議中。12月以降に受け入れ協定締結へ。

**問** 東海第二原発は再稼働に向け、事故が起きた時の広域避難体制として、水戸市民17万人の内、埼玉県に4万人受け入れを要請、水戸市は吉川市との協定締結に向け協議を進めているというが、内容は？

**答** 市民生活部長 避難受け入れ要請は2700人。自家用車での避難が想定され、交通アクセスの良し、1人3㎡の広さで施設を予定している。関係自治体と調整会議も行ない、12月以降に締結を希望する。

**問** 吉川市まで当原発から直線距離で100km圏内。影響は大きい。市民の安全を守る為には、吉川市は再稼働に反対し、廃炉を求めざるべきでは？

**答** 市民生活部長 国の責任に於いて適切になされるものであり、市は言うべき問題ではないと認識しております。

日本原子力発電がめざす再稼働に必要な国の技術審査は、ほぼ終わったと報道される。しかし、首都圏の老朽原発を動かす理由は何か、疑問だらけ。再稼働に対しては、茨城県や立地自治体の東海村とは別に、周辺5市も実質的な事前了解権を持ちます。那珂市の市長は反対を表明しました。



福島  
署名1万 市民が提出  
再稼働の為に安全対策工事費に1740億円以上かかります。経営難の原発の為に、株主でもある東京電力は経済的支援を表明した事に対し、「原発を救済するお金があるのなら、原発事故被害者の賠償にあてるべき」と福島の被災者の怒りの声。

**問** 吉川市の公立保育所に臨時保育士の割合が多いのは問題。また、臨時保育士は、30分労働時間が短い、ひと月の賃金格差は16万5千円(16年答弁)にも。有給休暇や一時金の支給もない。処遇の改善求めてきたが、現状は？

**答** 子ども福祉部長 臨時保育士の時給は平成25年は910円でした。毎年改善して現在は1100円です。一時金制度は有りません。

**問** 正規・臨時保育士の割合は。来年度の正規保育士の募集と、今後の考え方は？

**答** 子ども福祉部長 正規保育士18人・39%、臨時保育士28人・61%です。来年度の正規保育士の募集は未定です。今後、第2保育所での障がい児保育の比率が上がる等、運営に支障がある場合は適正な配置をしていきます。

### 公立保育所 臨時保育士の処遇改善 正規保育士を増やすこと

## 東海第二原発の再稼働は認められない

「東海第二原発の再稼働を認めない事を求める」意見書

### 市議会に提案しました 賛成多数で可決一政府へ提出

東海第2原発は、運転40年となる「老朽原発」。東日本大震災時の「被災原発」であり、1970年代設置の沸騰水型11基は、全て廃止措置が決定しています。

東海第2原発から避難計画が必要とされる30キロ圏の住民は約96万人。実効性ある計画は不可能と指摘されています。

東日本大震災では、200キロ以上離れた吉川市でも「汚染状況重点調査地域」と指定され、草木は刈れない、燃やせない。公園・学校の土は剥いで埋める。学校等の給食は今でも毎日検査。東海第二原発は吉川から100キロ圏内。影響は予測しきれない。茨城県内では、複数自治体の首長が再稼働への反対を表明しており、多くの議会で再稼働に反対する意見書などが可決されています。12月議会でも、責任ある避難者協定を結ぶことは可能なのか、徹底した市民への内容開示を求めています。

**問** 水路の整備要望は大変多いが、長期に渡り、要望にこたえられていない。産業振興条例のもと、抜本改善を求めます。

**答** 産業振興部長 掘削要望は秋頃農事組合から出してもらおう。かなり多く、工事要望も多い。第一義に、掘削工事をして、水の流れが良くなり、ほ場に水が入り、米が良くできるというところを考えながら進めているが、予算の範囲もあり、状況に応じて対応しているところだ。

**問** 3分の2が水稲。農業を産業としてみていくとの理念で、産業振興条例を策定した。市の方向としては、インフラ整備もしっかり進めていきたい。

### 産業振興条例―農業支援は水路整備事業の推進 せめて、水路掘削要望は 100パーセントすること